

集落の課題について

平成21年4月21日
国土交通省国土計画局

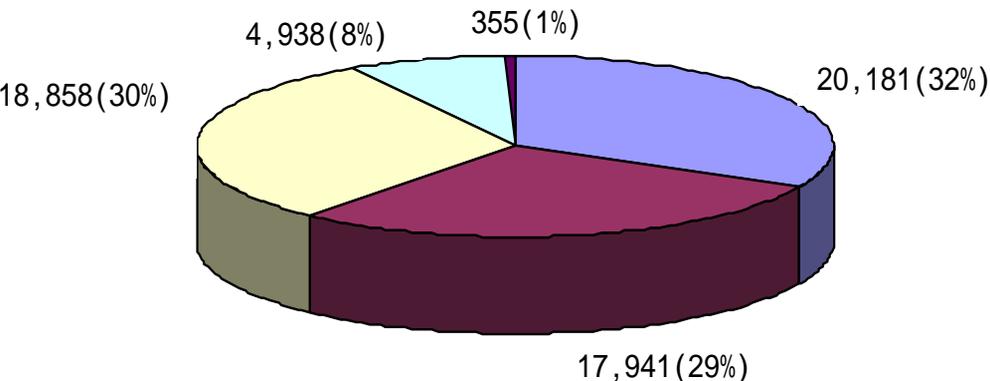
過疎地域にある集落の概況

過疎地域等の約62,000集落について地域区分で見ると、山間地が32%、中間地が29%となっており、両者併せて全体の6割以上を占める。

また、65歳以上の高齢者割合が50%以上の集落数が約8,000集落あり、10年以内に消滅する、又は、いずれ消滅する可能性のある集落は約2,600集落に及んでいる。

過疎地域の地域区分(総計62,273集落)

山間地：山間農業地域。林野率80%以上の集落
 中間地：中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落
 平地：平地農業地域。林野率50%未満でかつ耕地率20%以上の集落
 都市：都市的地域。DID面積のある集落



■ 山間地 ■ 中間地 ■ 平地 ■ 都市 ■ 無回答

地域区分集落数

	集落機能の維持の状況別集落数				計
	良好	機能低下	機能維持困難	無回答	
高齢者割合	4,601	1,742	1,514	21	7,878
50%以上	(58.4%)	(22.1%)	(18.2%)	(0.3%)	(100.0%)
高齢者割合	46,859	3,917	1,229	99	52,104
50%未満	(89.9%)	(7.5%)	(2.4%)	(0.2%)	(100.0%)
不明	1,821	283	174	13	2,291
	(79.5%)	(12.4%)	(7.8%)	(0.8%)	(100.0%)
全体	53,281	5,942	2,917	133	62,273
	(85.8%)	(9.5%)	(4.7%)	(0.2%)	(100.0%)

今後消滅の可能性のある集落数

	今後の消滅の可能性別集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	存続	無回答	
高齢者割合	306	1,285	5,453	834	7,878
50%以上	(3.8%)	(16.3%)	(69.2%)	(10.8%)	(100.0%)
高齢者割合	89	806	45,680	5,529	52,104
50%未満	(0.2%)	(1.5%)	(87.7%)	(10.8%)	(100.0%)
不明	28	129	1,251	883	2,291
	(1.2%)	(5.6%)	(54.8%)	(38.5%)	(100.0%)
全体	423	2,220	52,384	7,246	62,273
	(0.7%)	(3.6%)	(84.1%)	(11.6%)	(100.0%)

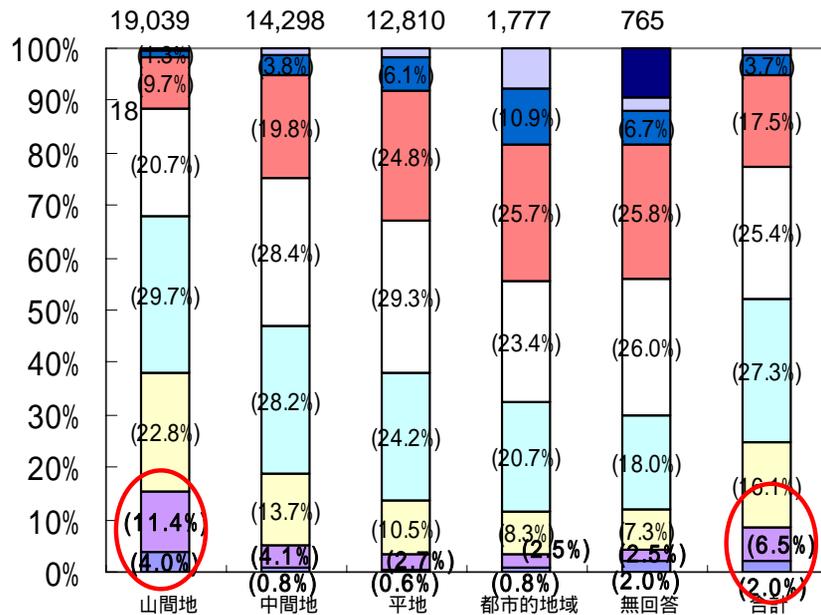
山間地等の地域区分ごとの集落規模の経年変化

集落の規模について、平成11年度「過疎地域等における集落再編成の新たなあり方に関する調査（国土庁）」（以下「H11調査」という。）とH18調査との経年変化をみてみると、25人未満の小規模集落が8.5%から11.1%に拡大している。

山間地集落において、小規模化が著しく、25人未満の小規模集落割合が15.4%から19.6%に拡大している。

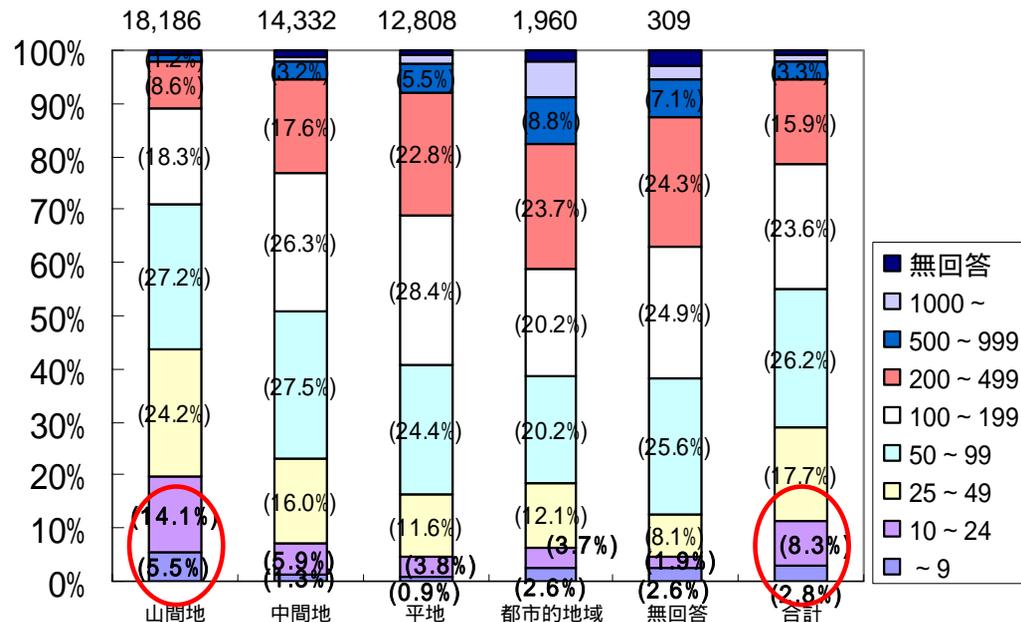
地域区分別・人口規模別集落数

(H11調査 総集落数48,689)



地域区分別・人口規模別集落数

(H18調査 総集落数47,595)



H11調査対象地域のH18調査時点における経年変化を表したものであるが、市町村によっては、合併等によりH11調査時の集落括り方では回答が不可能であるため、新たに集落の括り方を変えて回答したり、H11調査時点の回答漏れを追加回答したりしたところがあったため、H18調査時点の総集落数はH11調査の総集落数(48,689)とは一致しない。

H11調査及びH18調査の集落人口の調査時点は、以下のとおり。

H11調査：H9.3.31時点

H18調査：H18.4.30時点

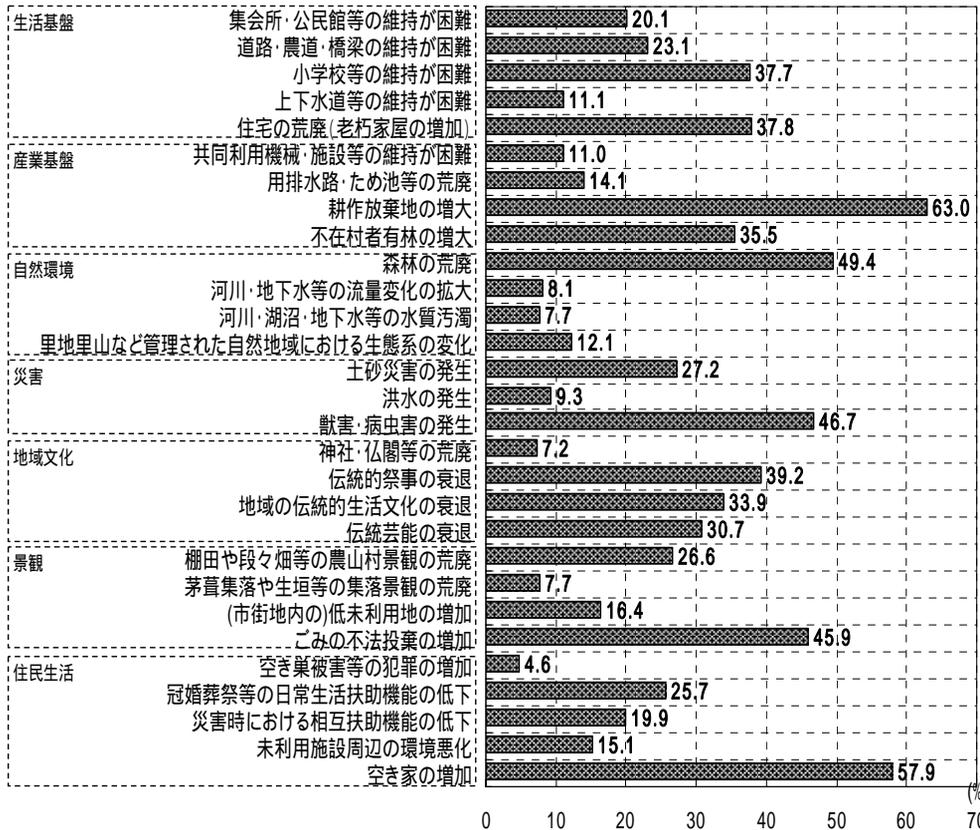
集落での問題の発生状況と住民の生活に対する不安

過疎地域等の集落で発生している問題や現象について全国的な傾向を見ると、6割を超える市町村で耕作放棄地の増大が指摘されているほか、空き家の増加、森林の荒廃、ごみの不法投棄の増加、獣害・病虫害等の発生なども高い割合となっている。

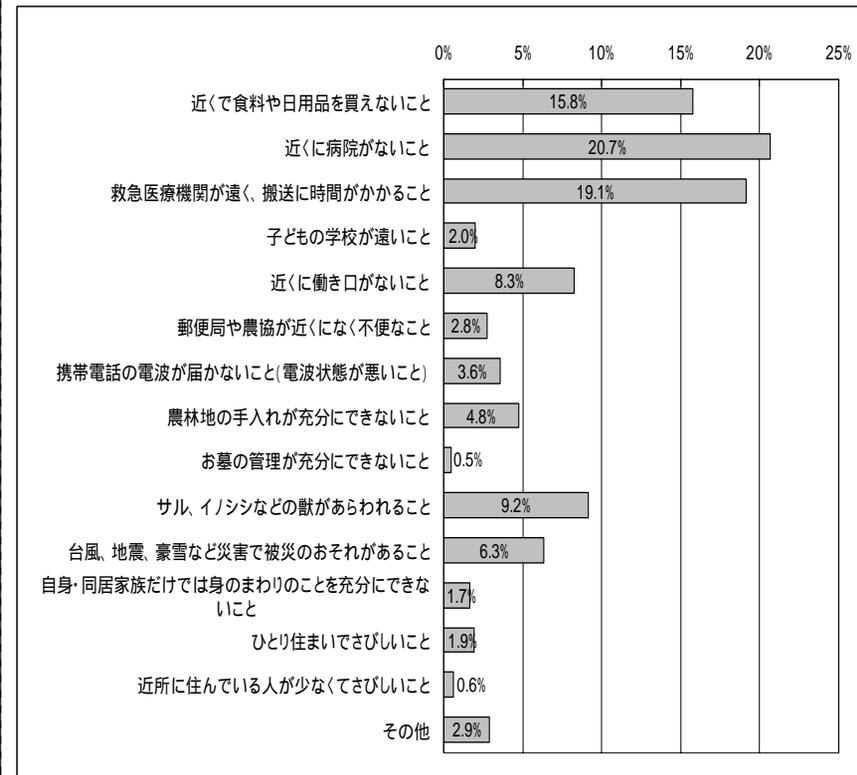
生活する上で困っていること・不安なことについては、「近くに病院がないこと」、「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかること」等、生活に関連するサービスにかかることを挙げる世帯主が多く、いずれも移動手段の確保と密接な関係がある。

多くの集落で発生している問題や現象（複数回答）

（市町村担当者へのアンケート結果）



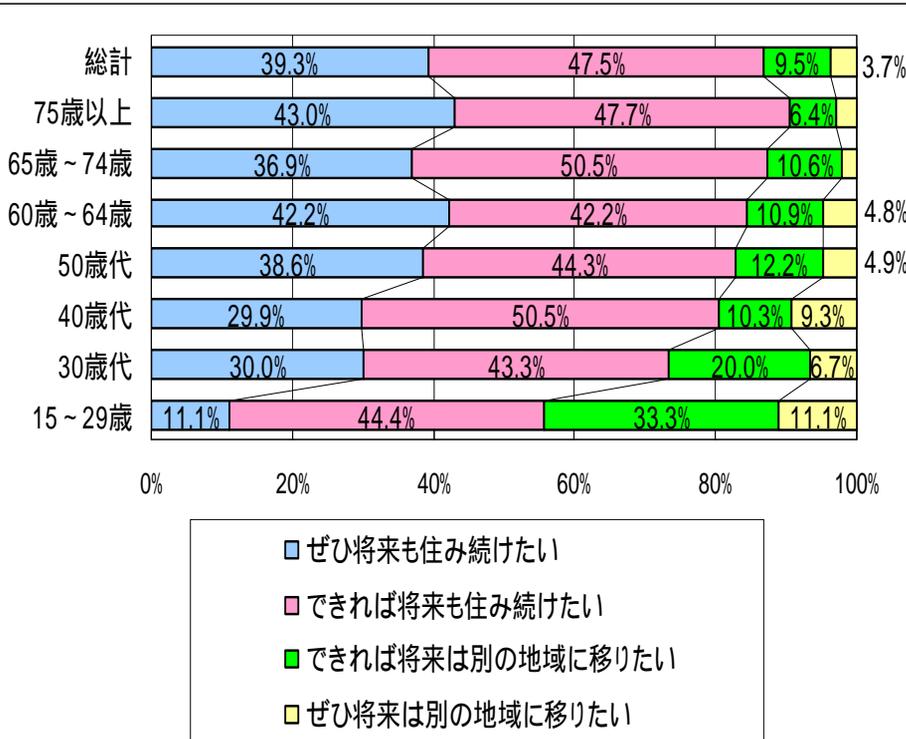
生活する上で一番困っていること・不安なこと



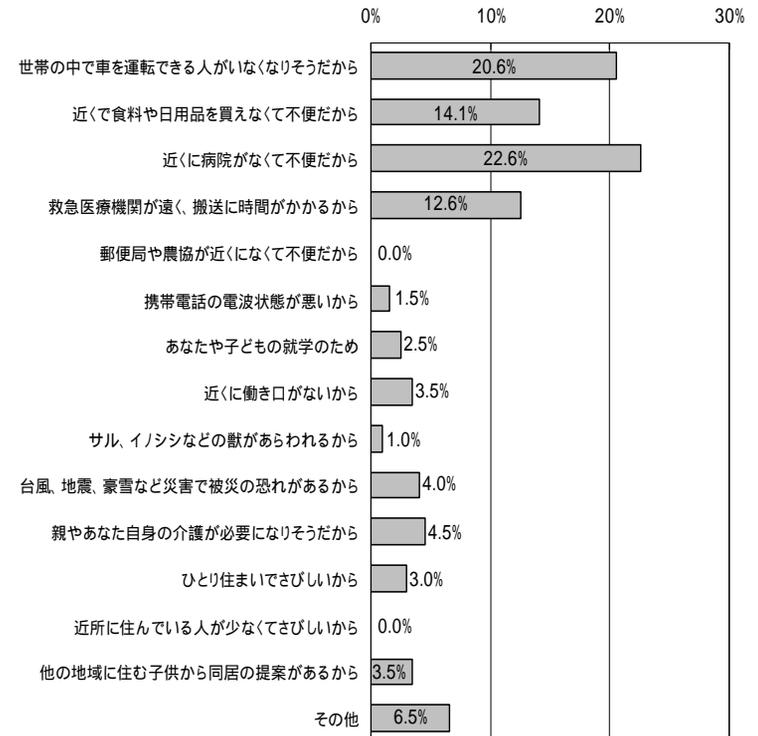
移転の希望とその理由について

今後の居住意向については、全体では約9割が住み続けることを希望している。
別の地域へ移りたい理由は、「近くに病院がなくて不便だから」を一番の理由とする世帯主が最も多く、次いで「世帯の中で車を運転できる人がいなくなりそうだから」を一番の理由とする世帯主が多い。

今後の居住意向

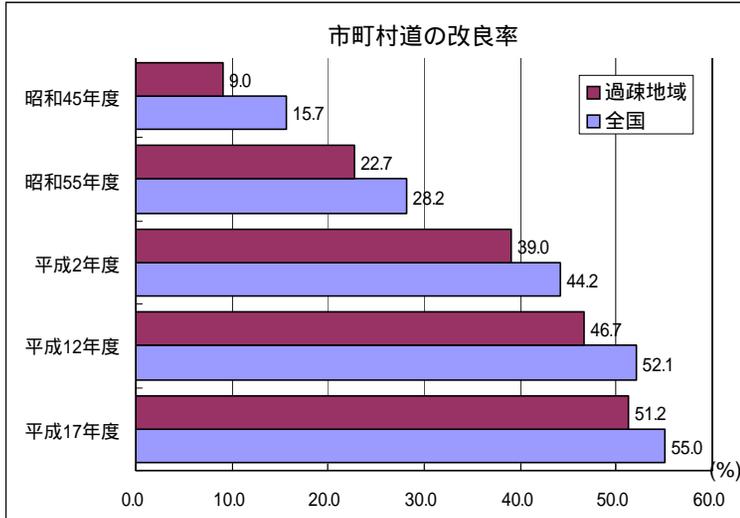


別の地域へ移りたい一番の理由

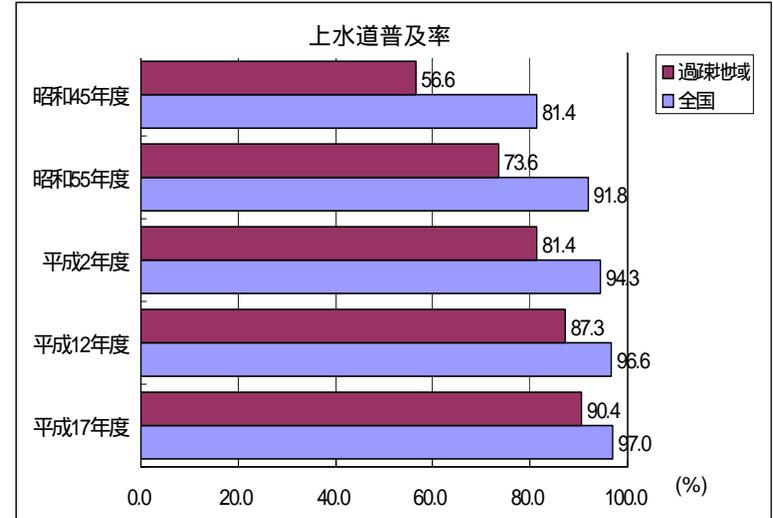


過疎地域におけるインフラ整備の状況

過疎対策事業により、過疎市町村におけるインフラ整備率は着実に伸びている。



改良率: 改良済延長(m) / 実延長(m) × 100



普及率: (上水道+簡易水道+専用水道+飲料水供給施設)給水人口(人) / (住民基本台帳搭載人口(人)+外国人登録人口(人)) × 100

